

(記入例2) 退職により、未徴収税額を一括徴収(退職時に全額徴収)し納入する場合

給与支払報告にかかるとの給与所得者異動届出書 特別徴収

〔1〕異動があった場合は、すみやかに提出してください。※郵送または窓口にてご提出ください。

令和XX年XX月XX日 (あて先) 立山町長		給与(特別徴収義務者) 支払者	所在地 〒 123-4567 〇〇市△△町1番地	特別徴収義務者 指定番号 0001234567	※処理欄 <input type="checkbox"/> R5年度 (R4年分) <input type="checkbox"/> R4年度 (R3年分) <input type="checkbox"/> ()	税額通知書に記載されている指定番号を記入してください。	
〇〇株式会社		代表者の職氏名 代表取締役 〇〇 〇〇	退職日を記入してください。	法人番号 1234567890123	担当係 給与係	氏名 立山 一郎	電話 000-000-0000
給与所得者				(ア) 特別徴収税額 (年税額) 120,000 円	(イ) 徴収済額 40,000 円	(ウ) 未徴収税額 ((ア)-(イ)) 80,000 円	異動理由
フリガナ	コウオツ タロウ			異動年月日	異動理由		
氏名	甲乙 太郎			令和XX年10月15日	① 退職 職勤職 2. 転職 3. 育児休業 4. 死 5. 会社解散 6. 徴収方法変更 7. 就 8. 就 9. その他		
旧住所	立山町××2番地			6月分から	1. 特別徴収 a. 継続 →〔2〕欄へ b. 開始 〇〇月分		
現住所	〇〇市××三丁目3番3号			9月分まで	2. 一括徴収 →〔3〕欄へ (退職時に全額徴収)		

退職などの異動があった方について記入してください。(結婚などにより姓が変わった方は、旧姓も記入してください。)

「旧住所」には税額通知書に記載されている住所(1月1日現在の住所)を記入してください。

現在の住所が「旧住所」と異なる場合に記入してください。

〔2〕特別徴収による特別徴収届出書		月割額 〇〇〇 円		給与(特別徴収義務者) 支払者	所在地 〒	特別徴収義務者 指定番号	氏名
受給者番号		〇〇月分から徴収し納入します。		代表者の職氏名	〇〇株式会社	法人番号	〇〇市△△町1番地
給与支払方法及びその期日		支払を希望する金額 〇〇〇 円		一括徴収した税額を何月分で納入するか記入してください。	〇〇月分	担当係	〇〇市△△町1番地
		※徴収月の翌月10日が納期限です。		徴収済み月及びその合計額を記入してください。		氏名	〇〇市△△町1番地

〔3〕未徴収税額(〔1〕欄の(ウ))について、一括徴収または普通徴収する場合、記入してください。
※1月1日から4月30日の期間に退職される場合は、本人の申出がない場合も残税額を一括徴収することが義務づけられています。

1. 一括徴収する場合	給与又は退職手当等の支払予定日 10月31日	一括徴収予定額 80,000 円	左記徴収予定額は下記分で納入します。 10月分(11月10日納期分)
2. 一括徴収できない場合	理由 1. 異動の日が6月1日から12月31日までの間で、本人からの申出がないため 2. 異動の日が1月1日から4月30日までの間で、残税額(上記(ウ)の額)を超える退職金などの支払がないため		

※1月以降退職の方は全て、原則この徴収方法となります。
普通徴収(本人納付)との選択制ではありません。